



特別展—画業50年のあゆみ—

黒井 健 絵本 原画展

2024.7.6 sat ▶ 9.1 sun

※休館日/毎週月曜日(ただし
7月15日[月・祝]・8月12日[月・休]は
開館)、7月16日[火]

会場/姫路文学館 北館 開館時間/10時~17時(入館は16時30分まで)



観覧料/一般800円、大学・高校生460円、
中学・小学生220円 ※常設展示も観覧可

- 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方(手帳またはミライロID手帳画面を提示してください)及び介護者1人は半額
- 20名以上の団体は2割引

主催/姫路文学館

協力/黒井健絵本ハウス 企画制作/オフィス渋谷

後援/朝日新聞姫路支局、神戸新聞社、産経新聞社、
サンテレビジョン、播磨時報社、
播磨リビング新聞社、姫路ケーブルテレビ、
姫路シティFM21、毎日新聞姫路支局、
読売新聞姫路支局、ラジオ関西



姫路文学館

HIMEJI CITY MUSEUM OF LITERATURE

<http://www.himejibungakukan.jp/>

『ころわんとしろいくも』より(上)、
『手ぶくろを買いに』より(左)
©Ken Kuroi



黒井 健 Ken Kuroi 絵本画家・イラストレーター

1947年、新潟県新潟市生まれ。
新潟大学教育学部美術科卒業。出版社の絵本編集部を経て、1972年、フリーのイラストレーターとして独立。
絵本・童話のイラストの仕事を中心に活躍する。
1983年、サンリオ美術賞受賞。
2003年、山梨県北杜市に「黒井健絵本ハウス」を設立。
2006年、第20回赤い鳥さし絵賞。
2010年より、新潟市立中央図書館こどもとしよかん名誉館長に就任。
2023年、日本児童文芸家協会児童文化功労賞受賞。

すぐれた文学の持つ感性に感動し、 その何か深い部分と対話しながら絵を 描くことは、私にとって心震える時に なりました。

黒井健(本展に寄せた文章より)

日本を代表する絵本画家 黒井健さんの画業50周年を
記念した展覧会を開催します。

黒井さんは、25歳の時、「絵を描いて一生を過ごしたい」と考え、イラストレーターとして独立。1976年に絵本「あめつてあめ」(矢崎節夫・作)で、絵本画家としてスタートを切りました。自身の絵に疑問を抱いていた時期に手がけた新美南吉の「ごんぎつね」が大きな転機となり、その後、「手ぶくろを買いに」、宮沢賢治の「猫の事務所」、間所ひさこの「ころわんシリーズ」など、第一線でついに300冊以上の絵本や児童文学の挿画を描きつづけてきました。

本展では、イラストレーター時代の貴重なカット作品から、出産を控えたお母さんたちを中心に人気の高い「うまれてきてくれてありがとう」(にしもとよう・作)、子どもの創造力とは何かを問いかけ話題となった「まっくろ」(高崎卓馬・作)などの新作絵本、さらに自ら文章を書いた画文集「ミッシェル」まで、約200点の原画を展示し、その多彩な画業の全貌にせまります。



「ごんぎつね」より



「まっくろ」より



「ふる里へ」より



「うまれてきてくれてありがとう」より



「ころわんとふわふわ」より

写真撮影コーナー

ころわんと
撮ろう！

黒井健さんの絵本、
関連グッズを販売！
黒井健さんの絵本、ポストカード、ころわんのぬいぐるみなどの各種グッズを販売します。

黒井健さん
ご来館!!

記念イベント

会場/姫路文学館
講堂(北館3階)

サイン会

●日時/7月6日(土)
午前の部:11時30分~12時30分
午後の部:14時~15時

●定員/各回40人
●参加方法/7月6日(土)午前10時より、当館ショップ(北館1階)にて絵本をご購入の方に先着順で整理券を配布します。展覧会半券の提示が必要となりますので、必ず先に観覧券をお買い求めください。※お一人様につき、サインは1冊限定。

記念講演会「絵本の生まれ方」

●日時/7月7日(日) 13時30分~15時30分(開場12時30分)
●定員/200人(当日先着順)
※本展観覧券の半券が必要。(使用済み半券も可。未就学児は不要)

えほんのじかん

当館ボランティアが黒井健さんの絵本のよみかきせを行います。

●日時/7月20日(土)・8月17日(土)
13時30分~14時(開場30分前)
●出演/姫路文学館友の会ボランティア
●定員/80人(当日先着順)

劇場版「ごん」上映会

児童文学の金字塔、新美南吉の「ごんぎつね」に新たな解釈を加えたストップモーション・アニメーションによる珠玉のショートフィルム。(八代健志監督・2019年制作/28分)

●日時/8月24日(土) 午前の部:11時~11時30分(開場10時)
午後の部:13時30分~14時(開場12時30分)
●定員/各回150人(当日先着順)
※本展観覧券の半券が必要。(使用済み半券も可。未就学児は不要)

講演会「絵本をつくる仕事」

(※姫路文学館友の会研修講座として実施)
話題の絵本『まっくろ』(高崎卓馬作・黒井健絵)など数多くの児童書編集を手がけてきた編集者の方に絵本づくりの現場についてお話しいたします。

●日時/8月10日(土) 13時30分~15時(開場12時30分)
●定員/100人(当日先着順)
●講師/講談社 幼児図書編集長 岡香織さん
●参加料/500円(友の会会員、高校生以下は無料)



©TAIYO KIKAKU Co., Ltd./TECARAT



姫路文学館
HIMEJI CITY MUSEUM OF LITERATURE
〒670-0021 姫路市山野井町84番地
TEL.079-293-8228
http://www.himejibungakukan.jp/

他館イベントのご案内

特別展
「小川晴暘と飛鳥園
100年の旅」
2024年7月6日(土)~9月1日(日)
姫路市立美術館 ☎079-222-2288

夏季特別展
「夏休み子どもミュージアム
—江藤雄造さんと漆であそぼう—」
2024年7月6日(土)~9月1日(日)
姫路市立美術館 美術工芸館 ☎079-267-0301

アクセス ●JR・山陽電鉄姫路駅より神姫バス9・10・17・18番のりば(一部停車しない系統があります。ご確認ください)で乗車約6分、「市之橋文学館前」下車、北へ徒歩約4分。6番のりば城周辺観光ループバス乗車約10分、「清水橋(文学館前)」下車、西へ徒歩約3分
●山陽自動車道姫路東IC.あるいは姫路西IC.下車約20分 ●姫路バイパス中地ランプ下車約15分

QRを読み込んで簡単アクセス
姫路文学館公式アカウントで情報を発信中!

ご来館の際の注意 ●展示会場の混雑を緩和するため、入場規制を行う場合があります。●駐車場の台数には限りがあります。公共交通機関のご利用にご協力ください。●最新情報は当館ホームページ等でご確認ください。